

Tokyo働き方改革宣言



東京都知事 小池百合子 書

働くときは集中して働き、休めるときはしっかり休む風土を作ります。自己啓発、ライフイベントへの対応、リフレッシュをしながら、個人個人の専門性・能力を高め、生産性を上げるよう取り組みます。

平成30年2月9日

株式会社ラウレア

目標

働き方の改善

繁忙期であっても時間外労働は一人当たり月平均15時間以下を目指します。長時間労働のない、いまの状況を維持しながら、繁忙期と閑散期とで、よりメリハリの利いた働き方を目指します。

休み方の改善

自己啓発・ライフイベントへの対応・リフレッシュをより一層進め、年次有給休暇取得率を全体で10%アップを目指します。

取組内容

働き方の改善

「勤務間インターバル」を導入し、1週間・1か月でみた労働時間数を平準化します。

繁忙期以外の閑散期においては、所定労働時間内(8時間)にての退社、仕事終了を徹底するよう、声かけをします。

休み方の改善

まずは夏に年次有給休暇の計画的付与(2日間)を導入します。

地域貢献・自己啓発のためにボランティア休暇を導入し、ワーク・ライフ・バランスの向上を目指します。